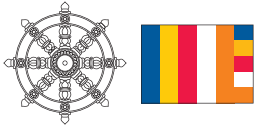


ZENBUTSU

全仏



No.
560

仏暦2553年 6月
[2010年]



和歌山県 那智山 — 撮影 橋本 明禅 師

目次

加盟団体をゆく 第35回 本門法華宗	2
社会人権審議会・宗教教育推進委員会答申及び報告について	4
第22回参議院議員通常選挙 本会推薦の手続きについて	5
参議院候補者推薦一覧	5
地域仏教情報 岐阜県多治見仏教会 ドイツ大悲正法山興聖普門寺	6
浄土宗西山禅林寺派晋山式・祝賀会	7
大和証券株式会社 貧困問題への新たな取り組み	8
各地の花まつり	12

加盟団体をゆく

《第三十五回》本門法華宗

今回は本門法華宗宗務院 谷町事務所をお訪ねし、藤井日靖宗務総長、吉村日彦総務部長、増田隆雄宗務部長にお話を伺いました。

本門法華宗は、京都の大本山妙蓮寺が総本山であり、宗祖日蓮大聖人より遺命を受けた日像聖人により永仁二（一二九四）年に創建され、貴重な文化財の数々や歴史を現在に伝えていきます。

また、室町時代より有名であったと言われる「妙蓮寺椿」や八重桜等、見事な自然も満喫できます。



(左より)
吉村日彦総務部長、藤井日靖宗務総長、
増田隆雄宗務部長

―貴宗派の活動で、継続的に、また特に力を入れていらっしゃる点についてお聞かせ下さい。

当宗派では立宗以来今日に至るまで、「合掌 ありがとうございます」の挨拶運動を宗内にて行っております。

「合掌」という佛の美しい姿と、「ありがとうございます」という感謝の心を大切にしている宗団であるべきであると考えているからであります。

現在特に力を入れている事業としましては、平成二十五年五月十二日、大本山妙蓮寺に於いて大覚大僧正六百五十遠忌・日隆大聖人五百五十遠忌の法要並びに記念事業が営まれる事が本年二月二十三日の第一回奉賛会に於いて議決されました。

この記念事業計画案として、大本山妙蓮寺大本堂の大屋根の吹き

替え、本堂改修営繕事業、『本門法華宗宗門史（上巻）』を増田日敏猷下著による出版等が計画されておりあります。今後、本山・門末の協力を得て記念事業を推進していきたいと思っております。

また、本門法華宗の総本山は京都の大本山妙蓮寺ですが、本門法華宗は大阪でも活発に活動を行っております。大阪との連携を深めてより有効な活動ができるように、昨年四月に「本門法華宗宗務院谷町事務所」を大阪市中央区に設置致しました。これにより、宗門と学院が共同で資料を活用できるようにもなりました。今後、宗派の情報発信基地として多いに活用していきたいと考えております。

今後も、門弟の育成、法器養成は非常に重要であると考えます。行学布教機関としては「本門法華宗学院」があり、宗学及び諸学の研修、教師の養成を行っており、具体的には年四期の教学講習会の開講や研修、及び布教の実践として機関誌や布教誌の発行を行います。

― 今後は講義録等の出版や初学者向けの講習会により力を入れて、いっそうの充実を図っていききたいと思っております。

― 今後の仏教界の在り方について、指針をお聞かせ下さい。

出生率の低下による人口減少や、地方都市の過疎化による影響により檀家制度や葬儀のあり方が崩壊しつつあります。特に過疎化は深刻で、実感としては大阪すら地方化してきてしまっているように感じます。

また、現在一般の方なら誰でも知っている、という知名度の高い宗教評論家や作家がとてもなくなくなってしまったように感じます。そうした方々の布教への効果や、宗教に対する理解を深めるといった影響力は非常に大きく、また、そうした方々が出てこないとなんか仏教に対する期待を無くしてしまっています。

新しく宗教界の論客と呼べる人々を発掘するよう広く人材を集めることは非常に重要であります。

すし、仏教界内のセミナーや講演会にとどまらず、広く一般メディアに対しても意見が発信できるような人材を育成することが急務である、と考えます。

また、仏教界に魅力ある人材を引き入れるには、仏教界そのものにも魅力がなければいけません。

そのためには、僧侶一人一人が襟を正し、一人でも多くの方が仏教の魅力をアピールして下さるのが理想である、と思います。「葬式は「いけない」と言われたい、言わせたいような魅力を体現していることが、結果として仏教界により良い人材が集まる為の最も効果的な方法なのではないでしょうか。

—昨今の様々な社会問題について、感じていらっしゃる思いをお聞かせ下さい。

昨今の事件や社会情勢の問題点は、少欲知足、足るを知るといいう精神を日本中が忘れてしまっているのではと感じます。欲に走りすぎる事により様々な問題が生じてしまっております。一例としては、

自宅で親が亡くなったのに年金等の受給を受けたい為に死亡届を出さず、ミイラのようになったご遺体が自宅で発見されたというニュース等々です。このような世相を末法と呼ばずして何を末法と呼ぶのでしょうか。自分を育ててくれた親に対してですら畏敬や尊敬の念を感じる事ができません。自分を律する、精神状態をコントロールする事を幼少期よりもっと教育していかなくてはならないでしょう。

様々な事情によって自殺してしまう方も大変多くなり、年間三万人を超えています。自分を一人の事だけを考えれば、死んでしまえば楽になる、現世の苦しみから解放される、と考えてしまうのかもしれませんが、誰か一人が自殺を行ってしまうとその家族・友人・知人といった周辺の方々へ大変な精神的ダメージを与えてしまいます。

自殺を未然に防ぐには、個人や地域のネットワークをより強めていく必要があります。しかし、現

代社会では親族すら全員集まる機会などほとんど無いのではないのでしょうか。これでは、人と人のつながりなど構築できません。

現在、親族が一堂に会するのは冠婚葬祭の時くらい、というのが実情です。そうした機会を僧侶がどれだけ提供していけるかという点も、自殺の防止には大きなポイントになってくると思います。

—(財)全日本仏教会へのご要望やご意見がありましたらお聞かせ下さい。

各種研修会を開催頂いたり、法律相談等のアドバイスを頂いたりといった取り組みには非常に助かりますので、今後も続けていきたいです。今後はさらに、ホームページや機関誌等による広報的な連携を深めていけば今以上により良い関係が構築していけるのでは、と思います。

(談)

本門法華宗ホームページ

[http://www.eonet.ne.jp/~](http://www.eonet.ne.jp/~myorenji/index.html)

[myorenji/index.html](http://www.eonet.ne.jp/~myorenji/index.html)

地域仏教会情報募集のお知らせ

全日本仏教会では、地域仏教会の情報募集しております。仏教会の活動や取り組みに関してのご寄稿・写真を左記事務局までお寄せ下さい。

※都道府県仏教会、市町村仏教会及び本会未加入の仏教会の情報も歓迎致します。

全日本仏教会 広報文化部

電話 〇三―三四三七―九二七五

FAX 〇三―三四三七―三二六〇

Email: kouho@jblne.jp

機関誌「全仏」

広告募集のお知らせ

機関誌『全仏』は、月間一万部発行され、全日本仏教会加盟団体・各地の寺院の方に購読されております。(年一〇回発行)

広告掲載ご希望の方は、左記全日本仏教会事務局までお問い合わせ下さい。

※掲載内容により、若干の変更を、お願いする場合がございます。ご了承下さい。

全日本仏教会 広報文化部

電話 〇三―三四三七―九二七五

FAX 〇三―三四三七―三二六〇

Email: kouho@jblne.jp

社会人権審議会 答申内容及び報告について

諮問一 日本国憲法改正論議における本会の対応について

一、日本国憲法の中の「平和への誓い」「人権」など日本国民として絶対尊重すべき項目について、本会の見解をまとめる。
二、日本国憲法改正論議に対する加盟団体の現状を把握し、本会の見解に対して理解を得られる方策を検討する。

本会は伝統仏教界における宗派を超えた連合体であることを鑑み、その意義や尊重すべき項目等をわかりやすく表明するためには、自由闊達な憲法論議を各加盟団体内で行っていただけるよう論議喚起や啓発を促し、広範で円滑な総意形成ができる環境を構築し、慎重に検討すべく継続審議を希望する。

諮問二 靖国神社への首相及び閣僚の公式参拝中止の要請について

「信教の自由」と「政教分離」の原則及び伝統仏教界が先の大戦に協力したことへの反省を踏まえ、靖国神社への首相及び閣僚の公式参拝中止の要請文を成文している。また要請後に、首相及び閣僚が公式参拝されたことを想定して、抗議文についても成文した。

また国政選挙時における本会からの選挙推薦に際し、この要請文及び抗議文の趣旨を立候補者に理解していただくことが必要である。

諮問三 同和・人権問題への対応について

仏教界は部落差別を始め、あらゆる人権問題に関する取り組みとおして、差別撤廃を目標とし、そのための啓発運動を加盟団体と共に進めていく。

本会は加盟団体相互の情報と意見交換を行う役割や機能を有しており、今後も加盟団体に向けて仏教界としての方向性を導くことを期待する。「同和」の呼称についても検討し「人権問題」の中に含

むことを答申した。

尚、部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会の運動と連携しながら、仏教界としての共通認識に立った見解をまとめるために、継続審議を希望する。

宗教教育推進委員会 報告

仏陀の和の精神を基調とし、仏教文化の宣揚と世界平和の進展に寄与することを目的としている本会は、今後も宗教教育に対して積極的に情報を収集し、加盟団体と協力・協働しながら、(財)日本宗教連盟と連携して学校教育における宗教教育の必要性を文部科学省、教育機関、さらには社会へより強く表明することが期待される。

本委員会では、幼児教育から大学、さらには海外の宗教教育に関して幅広く現状報告を受け、その実態を具体的に把握することにより、委員会の方向性が明確化された。

また、この一連の報告の中で、仏教系の中学・高等学校でも宗教

教育が十分に実施されていない実態が一部で明らかになったが、この点を改善できるように加盟団体を通しての呼びかけと論議喚起や啓発も本委員会の役割の一端でもあり、具体策や提言を検討する必要があると思慮する。

文部科学省では、改正教育基本法に基づき指導要領を作成した。小学校では地域の伝統文化行事や文化財的建造物への認識を深める為、「まつり」への参加、寺社の見学を奨め、より宗教文化に対して関心を持たせる方針を出している。また中学校では伝統文化や宗教に関する教育の充実を図るため、国内の宗教文化のみならず、世界的な視点での学習も求めている。

生命あるすべてのものを尊ぶ態度や、宗教的感性の涵養及び宗教に関する寛容の態度を養うこと、日本の伝統文化を保持し、美しい自然や生命を育む地球を将来の世代に引き継いでいくことを、いまを生きる私たちの責任として捉えている点が重要であり、仏教界は大きく貢献できると確信する。

第二十二回 参議院議員通常選挙 本会推薦の手續きについて

本年七月に行われる第二十二回参議院議員通常選挙に際し、加盟団体各位が支援される立候補予定者の中に、本会の事業及び目的をご理解され、ご支援ご協力を頂ける候補者がおられましたら、全日本仏教会からも推薦致します。

選挙推薦に係わる書類を四月二十二日に加盟団体に発送しております（全仏社会発第二号 国政選挙立候補予定者の本会推薦について）ので、同封した書類に必要事項を記入の上、本会に提出して下さい。

⑥ 閣僚の靖国神社公式参拝に対する抗議

提出書類は左記の三枚です

① 推薦申請書
加盟団体で記入

② 誓約書

立候補予定者本人の署名及び捺印

③ 履歴書

秘書・応援者による記入でも可

④・⑤・⑥については、本会の

活動をご理解頂くため、立候補予定者にご了承頂きますよう、お願い致します。

推薦の流れについて

1、加盟団体傘下のご寺院からの依頼により、立候補予定者へ②から⑥を送付。

2、立候補予定者は②と③を加盟団体に提出。

3、加盟団体は推薦申請書を記入の上、①・②・③を本会に送付。

4、加盟団体から送付された申請書類を確認し、推薦申請書に記載された送付先に、本会の檄文と推薦証を発送。

お願い

各加盟団体の事務局におかれましては、団体傘下のご寺院から選挙推薦の依頼があった場合「推薦の流れについて」をご留意頂きますが、ご多忙のところ恐縮と存じますが、宜しくお取り計らい下さいますよう、お願い申し上げます。

選挙推薦に関する問い合わせ

全日本仏教会 社会人権部
加久保・三浦・田代まで

TEL

〇三―三四三七―九二七五

FAX

〇三―三四三七―三二六〇

参議院候補者推薦

「第二十二回参議院議員通常選挙」に向け、本会は左記の立候補者を推薦いたします。（カッコ内はそれぞれ立候補した選挙区及び比例区 五月二十一日現在）

民主党

松岡 徹（比例代表）
亀原 了円（比例代表）
前川 清成（奈良県）
福山 哲郎（京都府）
林 久美子（滋賀県）
岩田 浩岳（島根県）
柿内弘一郎（鹿児島県）

自由民主党

片山さつき（比例代表）
佐藤ゆかり（比例代表）
神取 忍（比例代表）
小坂 憲次（比例代表）

（申請順 敬称略）

式参拝中止の要請

**岐阜県多治見仏教会
「こころの日慰霊祭開催」**

岐阜県多治見市で五月八日午前十時よりこころの日慰霊祭が開催された。

多治見市遺族会では戦没者慰霊祭を長く続けてきたが、戦後六十年以上が経ち遺族の高齢化などにより開催が困難となってきた。これを受けて平成二十一年より多治見仏教会主催の「こころの日慰霊祭」と名称を変えて継続されることになった。

多治見仏教会をはじめとして岐阜県各地では「毎月八日はこころの日」とする運動が続けられている。平成十八年に第二回こころの日東濃大会が多治見市で開催され、これを期に多治見仏教会ではこころの日運動を盛り上げるべくラッピングバスの運行、FMコミュニティ放送での呼びかけなど様々な「こころの日」の広報活動を継続してきた。

当日開催されたこころの日慰霊祭では、虎溪山山頂の大観世音菩



慰霊殿に多数の参加者が参拝した

薩像を祀る戦没者慰霊殿内に花御堂を祀り、仏教会寺院をはじめ諸宗教関係者、遺族会や一般市民二百名ほどにより灌仏会が行われ、参加者に甘茶が振る舞われた。この慰霊祭は、戦没者の慰霊を通じて参詣者に「真のこころ」にめぐめていただく催しと位置づけられており、以後毎年開催されることになっている。

(岐阜県仏教会より寄稿)

こころの日ホームページ

<http://kokoronohi.com/>

**地域仏教情報
「ドイツ大悲正法山興聖普門寺」**

五月十一日、全日本仏教会に曹洞宗ヨーロッパ国際布教師中川正壽老師が来局された。

ドイツのミュンヘンから東に約百キロの位置にあるアイゼンブッフには、永平寺直末寺の「ドイツ大悲正法山興聖普門寺（以下ドイツ普門寺）」がある。中川老師はドイツ普門寺の堂頭をされており、一九七九年以来ドイツに在住し禅の指導を続けている。ドイツ普門寺は本格的な禅センターを作りたいという中川老師の悲願が実を結び、一九九六年に創立された。

ドイツ普門寺はアイゼンブッフのアルプス丘陵地が織りなす美しい自然の中に建っていたホテルが原型であった。老朽化が進んでいる建物を徐々に改修・改築しながら、誰でも参加できる多彩なプログラムを催し、また中川老師が各地に講演に赴きながら、布教活動を進めていった。

常住修行者を中心に様々な苦難を乗り越えながら、二〇〇六年には晋山結制・創立十周年慶讃報恩

法要・観音懺法・僧堂開單式・記念講演が開催された。オースターマイヤー市長やシュナイダー州議員をはじめ、日本や欧米各地から総勢二百五十人が集まり、厳粛な儀式が勤められた。

二〇一〇年には初めての試みとして、現地の方々、日本人を問わず、四ヶ月の住み込み修業を実施する。毎日三時起床後の坐禅で一日を始め、夜も坐禅後十時就寝の修行生活を行うもので、修行道場としての普門寺を表す活動として、今後も定期的な開催を目指している。

中川老師は「今後もサンガ作りを進めていきながら、地域に密着した関係を深め、曹洞禅を欧州の地で発信していきたい」と語った。



中川正壽老師
(全日本仏教会事務所にて撮影)

中西玄禮浄土宗西山禅林寺派管長 総本山永観堂禅林寺第九十世法主晋山式・祝賀会開催

二月一日に就任した中西玄禮浄土宗西山禅林寺派管長・総本山永観堂禅林寺第九十世法主の晋山式が、四月十八日に総本山禅林寺で厳修され、本会より河野太通会長が参列した。

禅林寺総門前で開門式に臨み、境内を参進後、満堂の御影堂に昇殿した中西管長は「これほど多くの方が祝って下さることに仏縁の尊さと、ご恩の深さをしみじみと感じている」と謝辞を述べられた。

また「一枚起請文にあるただ一向に念仏すべしの教えは、恩を知り、感じ、報いるためにお念仏一筋に生きよと受け止めている。私が出来た恩返しは八百回大遠忌を無事勤め、教えを少しでも多くの人々に伝えることをみかえり阿弥陀様に心の中で誓った」と力強く挨拶し、八百回大遠忌に向けても協力を要請した。

奉告法要の最後に河野太通会長



河野太通会長祝辞の様相 (写真提供：中外日報社)

が「現代の日本は憂慮すべき問題を抱えており、仏教団体の社会的対応と貢献を考えると同時に、一人一人の仏教者が確固たる求道心を堅持できるよう、今後とも本会活動へのご協力をお願いする次第であります」と述べた。

その後会場を京都東山区のホテルに移して祝賀会が開催され、五百五十人余りが出席した。

ハイチ大地震に対し、 救援基金を追加寄託

日本時間二〇一〇年一月十三日午前六時五十三分、ハイチ共和国(首都 ポルトープランス)で発生した地震は二十万人以上の方が亡くなったと報告があります。

今回の地震災害に対して、本会は四月三十日、救援基金へハイチ地震指定寄付として寄せられた二百四十四万三千三百一円を仏教NGO ネットワークへ振込にて寄託いたしました。

本会は本年一月二十日にも、ハイチ共和国へ見舞金百万円、日本赤十字社を通して国際赤十字社へ百万円を救援基金より寄託いたしました。

今後の支援状況につきましては『全仏』誌及びホームページ上において順次ご報告させていただきます。

全日本仏教会ホームページ

<http://www.jbfn.jp/>

「救援基金」寄付者名

(四月七日～五月十日)

八王子市仏教協会青年部

(敬称略)

ご支援誠に有り難うございました。仏教界を挙げて人道的支援活動のため、引き続きご協賛をお願い申し上げます。

【郵便振替】

口座番号 00110-9-704834
口座名義 全日本仏教会救援基金

本会の事業をご理解頂くために

既に加盟団体各位には案内状を送付致しておりますが、本会事業説明のために、加盟団体へ事務総局員を派遣しております。事業説明資料・派遣費等は本会が負担致します。宗会或いは総会の開催等にお時間を頂きたく存じます。何卒宜しくお願い致します。

詳細は左記まで

全日本仏教会 総務部

電話 〇三―三四三七―九二七五
FAX 〇三―三四三七―三三六〇

平成二十二年度事業説明既派遣先
曹洞宗宗務庁

「マイクロファイナンスの果たす役割」

「貧困問題への新たな取り組み」

大和証券株式会社 商品企画部 山本 聡

貧困は希望を奪う

貧困問題は、われわれ人類が直面する最も大きな課題です。いま、世界の人口の五人に二人にあたる二十八億人が一日二ドル未満で生活しており、うち十二億人が一ドル未満での生活を強いられているといわれています。結果、開発途上国では、毎日三万三千人の子どもが命を失い、毎分一人以上の女性が出産で命を落としています。貧困はまた、一億人以上の子どもたちから学ぶ機会を奪っています。

これまで、貧困問題の解決に向けて官民双方から様々な取り組みがなされてきました。一日一ドル未満で生活する最貧困層の数は着実に減少しています。しかし残念ながら、それが地域ごとに均等にみられるわけではありません。中国以外の開発途上国では一日一ドルの水準から抜け出した人の数は一九八〇年以來ほとんど変わっておらず、一日二ドル未満で生活する貧困層の数はむしろ増加してい

るとの声も聞かれます。

こうした現状に対し、寄付でもなく援助でもない「マイクロファイナンス」と呼ばれる画期的な手法に世界の注目が集まっています。

貧しい人々の経済的自立を支援

マイクロファイナンスとは、貧困層向け金融サービスの総称です。もともとは、貧しい人々の自立を促すための少額無担保融資「マイクロクレジット」がこの分野の用語として定着していましたが、現在ではサービス対象が預金や送金、保険などにまで拡大していることから、「マイクロファイナンス」という用語がより広く用いられるようになってきました。

マイクロクレジットの歴史は三十年前にまでさかのぼります。一九七〇年代の中頃、それまで融資の対象とされていなかった貧困層に對して、生産活動・所得創造のための資金を小額ながら無担保で提供するという画期的な取り組み

がバングラデシュのNGO・BRAC（バングラデシュ農村向上委員会）によって開始され、アジアやラテンアメリカの幾つかの国々においても、同じ時期に同じような試みがそれぞれ独自の手法で行われました。それは壮大な実験でした。貧困層に無担保で融資するなんてとんでもない、それが当時の常識であり、いざれ行き詰まるという冷やかな視線の中でのチャレンジだったと言います。

しかし、「担保なんて裕福な人しか持ち得ないのに、それを前提にしたサービスしか提供できないのでは、いつまでたっても貧困にあえぐ人々の自立を促すことはできないではないか。彼女たちは最初の一步を踏み出すためのわずかな資金さえあれば、経済的自立に向けた道を進んでいけるはずだ」という信念のもと、単なる融資を越えた地道な活動が各地で行われました。やがてそれらが実を結び、多くのプログラムが既存の銀行融資を大きく上回る返済率を示していることが明らかとなります。こうしてマイクロクレジットが開発プログラムとしてもビジネスとし



インドネシア・ヌサ村の子供たちへの教育支援

ても持続可能であることが明らかになるにつれ、慈善事業家や開発機関だけでなく研究者や実務者の間でも大きな注目を集めるようになりました。

そして二〇〇六年、マイクロクレジットのビジネスモデルを確立したグラミン銀行のムハマド・ユヌス総裁がノーベル平和賞を授与したことで、マイクロクレジットという用語が一般に広く知られるようになったのです。

寄付でも援助でもない社会的ビジネス

貧困という社会的課題への取り組みを持続可能なものとするため

に、ビジネスの手法を用いているところがマイクロファイナンスの大きな特徴です。

各国の政府や国際機関は、世界の諸問題に対して責任ある役割を担っています。これら公的セクターが万能でないことは周知の通りです。例えば地球温暖化ひとつをとっても、各国間の利害や思惑が絡み合い、問題の解決には程遠い状況のままとなっています。一方、社会問題に関心を持つ大勢の人々が非営利組織 (Non Profit Organization, NPO) を通じて自然災害、環境汚染、飢餓・貧困などの様々な社会問題に取り組んでいます。これら民間セクターの善意の活動にも残念ながらやはり限界があります。NPOはその資金源を寄付に依存しているため、寄付金の範囲でしか活動規模や持続可能性を確保できないという問題を抱えているのです。

ちんと確保しよう、財源は自らの事業で生み出そうというわけですが、ただし、利潤追求はあくまでも社会的利益を拡大再生産するための手段であり、それ自体が目的化するのではないというのが通常です。この点で、利潤の最大化を目指す一般の営利企業とも異なります。チャリティと営利企業の長所を活用し短所を補ったハイブリッド型のビジネスといったところででしょうか。

借り手の中心は女性

海外では、マイクロクレジットの利用者のことをEntrepreneurial Poopと表現していることが多いことに気がきます。直訳すると「起業家精神にあふれた貧困層」ということになりませんが、「事業を行う意思があるけれども貧困であるが故にできない、あるいはできても貧困からは抜け出せない人々」といったほうがわかりやすいでしょう。

ニワトリや牛を飼うにしても、野菜を栽培するにしても、工芸品をつくるにしても、必ず元手が必要です。しかし、担保のない貧困

層が銀行から融資を受けることは不可能なため、インフォーマルな資金源に頼らざるを得ません。ところが、そうした資金源の金利は年百〜二百%、ときに年千%と法外な水準であり、せつかく生産活動を通じて収益を得ても借金を返済したら手元にほとんど何も残らないということになります。これではいつまでたっても貧困から抜け出すことは出来ません。B R A Cやグラミン銀行をはじめとするマイクロファイナンス機関は、こうした絶望的な状況を打破するために、自立する意思のある人々のために無担保で事業資金を提供します。

利用者の特徴として、女性が多いことが挙げられます。全世界のマイクロファイナンス利用者は一億五千万人を超えるといわれていますが、そのうち八割が女性だということです。開発途上国では女性の社会的地位が低いことも少なくありません。女性の経済力向上を促すマイクロファイナンスは、貧困削減だけでなく女性の社会的地位向上にも効果をもたらしているといわれています (ジェンダー・エン

パワーメント効果)。

ここまで、マイクロファイナンスの歴史と概要についてお話いたしました。8月号および9月号では、マイクロファイナンスの現場について、一般財団法人国際開発センターの三井久明氏、鳥海直子氏にレポートしていただきます。豊富なフィールドワークに基づくお二人のお話は、他では読めない貴重なコラムになると思います。是非ご期待下さい。



インドのマイクロファイナンス利用者とその家族

マイクロファイナンスに関する特集はこちらからご覧いただけます。
<http://www.daiwa.jp/impact/index.html>

全日本仏教会

「賛助会員」入会者一覽

(平成二十一年十二月十一日)
平成二十二年五月十日

【団体会員】

ティケイヘンデルアート
東日観光株式会社

【個人会員】

福聚院 伊達 廣三(宮城県)
和心庵 井上美和子(佐賀県)
大藏寺 佐藤 直道(神奈川県)
太福寺 佐久間大道(兵庫県)
大西 孝典(民主党衆議院議員)
(順不同・敬称略)

ご入会誠にありがとうございます。引き続き、皆様のご入会をお待ちしております。

本会ホームページから賛助会員要綱・申込書などを閲覧・プリントアウトできます。

<http://www.jbfn.jp>

全国の寺院にお願

個人の入会にあつては、入会希望者の菩提寺の推薦を頂くことになりました。加盟団体傘下の各寺院の皆様にはご負担をおかけいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

全日本仏教会ホームページ

情報募集のお知らせ

全日本仏教会はホームページ上において、本誌『全仏』バックナンバーを公開しております。また、

- ・全日本仏教会について
- ・本会より最新のお知らせ
- ・WFB(世界仏教徒連盟)とは
- ・仏教系学校紹介
- ・全国霊場紹介
- ・頒布品の販売
- ・宗教学法人向け提出書類書式のダウンロード

等々の情報提供を随時行っております。

各加盟団体や傘下のご寺院からご提供頂きました、催し物・講演会等の一般参加可能な公開行事は「仏教イベント情報」として随時掲載させて頂いております。左記宛先まで是非情報をお寄せ下さいませ。

〒105-0011

東京都港区芝公園四一七-四

明照会館二階

全日本仏教会 広報文化部宛

Eメール kouho@jbfn.jp

インパクト・インベストメント ～投資を通じた社会貢献～ 大和証券の取り組み

◆インパクト・インベストメント

欧米では今、“インパクト・インベストメント (Impact Investment)” という新たなトレンドが動き出しています。インパクト・インベストメントとは、経済的な利益を生み出すと同時に、貧困や環境などの社会的課題に対して、より直接的で即効性のある解決を目指す投資のことです。投資リターンのみならず社会的リターンも期待できる、新しい投資のかたちといえます。

◆社会的課題の解決に向けて-大和証券の取り組み-

大和証券では、調達資金をマイクロファイナンス(貧困層向け小規模金融サービス)に活用する『マイクロファイナンス・ボンド』等、社会貢献につながるインパクト・インベストメント商品を販売してきました。

資金を必要としている人と資金を持つ人をつなぐという証券会社本来の役割を通じ、投資家の皆さまとともに、貧困をはじめとするさまざまな問題の解決に寄与していきたいと考えております。

冊子 無料進呈

未来を創る投資
インパクト・インベストメント
～投資を通じた社会貢献～

ご希望の方はFAXもしくはハガキにてお申込みください。

請求先: 大和証券(株)
法人サポート部 公益法人担当係
宛 先: 〒100-6752 東京都千代田区丸の内1-9-1
 Grantウキョウノスタワー

FAX: 03-5555-0701
ご記入事項: 貴法人名、所在地、お電話番号、ご芳名、所属・ご役職

※数に限りがございますので、品切れの際はご容赦ください。
※ご記入いただいた情報は、当社または関連会社、提携会社の商品・サービス等のお客さまへのご案内、および商品開発やサービス向上のために利用させていただくことがございますので、あらかじめご了承ください。



大和証券

Daiwa Securities

※大和証券のインパクト・インベストメントに関する特集は、ホームページ「知りたい投資」でご覧いただけます。

※全日本仏教会ホームページの賛助会員一覧

「団体会員 大和証券(株)法人サポート部」からもご覧いただけます。

www.daiwa.jp/study

大和証券ホームページ www.daiwa.jp

事務総局録事

四月(十一〜三十一日)

- 見る会」参加(新宿御苑)
- 十八日▼浄土宗西山禅林寺派管長・総本山永観堂禅林寺第九十世法主晋山式・祝賀会 河野太通会長出席
- 十九日▼全日本仏教徒会議栃木大会事務局会議出席(宇都宮 栃木県仏教会事務所)
- 二十日▼(財)日本宗教連盟 監査会出席
- 二十一日▼局内会議
- 二十二日▼(財)日本宗教連盟 幹事会・理事会・参議会 懇親会出席(アルカデア市ケ谷)
- 二十三日▼(株)オードリー 鈴木氏来局
- 二十四日▼朝日新聞社 木村氏来局
- 二十五日▼東京プリンスホテル 秋山氏来局
- 二十六日▼自民党本部 坂本哲志議員・内田氏来局
- 二十七日▼戸松義晴事務総長挨拶回り(高野山真言宗)
- 二十八日▼民主党藤谷光信事務所 脊尾氏 本願寺首都圏センター 部谷氏来局
- 二十九日▼朝日ビジネスソリューション 木村氏来局
- 三十日▼朝日ビジネスソリューション 木村氏来局
- 三十一日▼内閣総理大臣主催「桜を見る会」参加(新宿御苑)
- 十八日▼浄土宗西山禅林寺派管長・総本山永観堂禅林寺第九十世法主晋山式・祝賀会 河野太通会長出席
- 十九日▼全日本仏教徒会議栃木大会事務局会議出席(宇都宮 栃木県仏教会事務所)
- 二十日▼(財)日本宗教連盟 監査会出席
- 二十一日▼局内会議
- 二十二日▼(財)日本宗教連盟 幹事会・理事会・参議会 懇親会出席(アルカデア市ケ谷)
- 二十三日▼(株)オードリー 鈴木氏来局
- 二十四日▼朝日新聞社 木村氏来局
- 二十五日▼東京プリンスホテル 秋山氏来局
- 二十六日▼自民党本部 坂本哲志議員・内田氏来局
- 二十七日▼戸松義晴事務総長挨拶回り(高野山真言宗)
- 二十八日▼民主党藤谷光信事務所 脊尾氏 本願寺首都圏センター 部谷氏来局
- 二十九日▼朝日ビジネスソリューション 木村氏来局
- 三十日▼朝日ビジネスソリューション 木村氏来局
- 三十一日▼内閣総理大臣主催「桜を見る会」参加(新宿御苑)
- 十八日▼浄土宗西山禅林寺派管長・総本山永観堂禅林寺第九十世法主晋山式・祝賀会 河野太通会長出席
- 十九日▼全日本仏教徒会議栃木大会事務局会議出席(宇都宮 栃木県仏教会事務所)
- 二十日▼(財)日本宗教連盟 監査会出席
- 二十一日▼局内会議
- 二十二日▼(財)日本宗教連盟 幹事会・理事会・参議会 懇親会出席(アルカデア市ケ谷)
- 二十三日▼(株)オードリー 鈴木氏来局
- 二十四日▼朝日新聞社 木村氏来局
- 二十五日▼東京プリンスホテル 秋山氏来局
- 二十六日▼自民党本部 坂本哲志議員・内田氏来局
- 二十七日▼戸松義晴事務総長挨拶回り(高野山真言宗)
- 二十八日▼民主党藤谷光信事務所 脊尾氏 本願寺首都圏センター 部谷氏来局
- 二十九日▼朝日ビジネスソリューション 木村氏来局
- 三十日▼朝日ビジネスソリューション 木村氏来局
- 三十一日▼内閣総理大臣主催「桜を見る会」参加(新宿御苑)
- 十八日▼浄土宗西山禅林寺派管長・総本山永観堂禅林寺第九十世法主晋山式・祝賀会 河野太通会長出席
- 十九日▼全日本仏教徒会議栃木大会事務局会議出席(宇都宮 栃木県仏教会事務所)
- 二十日▼(財)日本宗教連盟 監査会出席
- 二十一日▼局内会議
- 二十二日▼(財)日本宗教連盟 幹事会・理事会・参議会 懇親会出席(アルカデア市ケ谷)
- 二十三日▼(株)オードリー 鈴木氏来局
- 二十四日▼朝日新聞社 木村氏来局
- 二十五日▼東京プリンスホテル 秋山氏来局
- 二十六日▼自民党本部 坂本哲志議員・内田氏来局
- 二十七日▼戸松義晴事務総長挨拶回り(高野山真言宗)
- 二十八日▼民主党藤谷光信事務所 脊尾氏 本願寺首都圏センター 部谷氏来局
- 二十九日▼朝日ビジネスソリューション 木村氏来局
- 三十日▼朝日ビジネスソリューション 木村氏来局
- 三十一日▼内閣総理大臣主催「桜を見る会」参加(新宿御苑)
- 十八日▼浄土宗西山禅林寺派管長・総本山永観堂禅林寺第九十世法主晋山式・祝賀会 河野太通会長出席
- 十九日▼全日本仏教徒会議栃木大会事務局会議出席(宇都宮 栃木県仏教会事務所)
- 二十日▼(財)日本宗教連盟 監査会出席
- 二十一日▼局内会議
- 二十二日▼(財)日本宗教連盟 幹事会・理事会・参議会 懇親会出席(アルカデア市ケ谷)
- 二十三日▼(株)オードリー 鈴木氏来局
- 二十四日▼朝日新聞社 木村氏来局
- 二十五日▼東京プリンスホテル 秋山氏来局
- 二十六日▼自民党本部 坂本哲志議員・内田氏来局
- 二十七日▼戸松義晴事務総長挨拶回り(高野山真言宗)
- 二十八日▼民主党藤谷光信事務所 脊尾氏 本願寺首都圏センター 部谷氏来局
- 二十九日▼朝日ビジネスソリューション 木村氏来局
- 三十日▼朝日ビジネスソリューション 木村氏来局
- 三十一日▼内閣総理大臣主催「桜を見る会」参加(新宿御苑)

五月(一〜十日)

- 六日▼全日本葬祭業協同組合連合会事務局訪問(市ケ谷)
- 七日▼WFB執行役員会議・人道支援委員会事前打合せ
- 七日▼民主党衆議院議員 木村たけつか氏来局
- 七日▼仏教NGOネットワーク運営委員会出席
- 十日▼曹洞宗内局・課長へ本会事業説明実施

五月号(五五九号)において、表紙写真、光明寺様の御写真が左右反転しておりました。不手際により大変ご迷惑をおかけしましたこと、関係各位に心よりお詫び申し上げます。(編集部)

無料法律相談室

長谷川正浩弁護士、
第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務局03(3437)9275へ事前予約の上おいで下さい。

平城遷都1300年記念 特別展 奈良の古寺と仏像 ~會津八一のうたにのせて~

平成22年（2010年）は、710年に奈良の都「平城京」が誕生してから1300年という節目の年に当たります。このたびの特別展では奈良の諸寺院のご理解ご協力により、数々の優れた仏像と仏教工芸品および奈良の地をこよなく愛した、歌人・書家であり美術史家であった會津八一を取り上げました。お誘い合わせの上、是非足をお運び下さい。

- 【会 期】 2010年7月7日(水)～9月20日(月・祝)
- 【開館時間】 10：00～17：00（入館は16：30まで）※夜間開館あり
- 【入 館 料】 一般 1,200円 大学・高校生 700円
中学生以下 無料 ※団体割引等あり
- 【主 催】 三井記念美術館、日本経済新聞社

他詳細は三井記念美術館ホームページ <http://www.mitsui-museum.jp>
及び本会ホームページをご覧ください。



国宝 法隆寺 観音菩薩立像(夢違観音)
画像提供：飛鳥園

各地の花まつり写真集

お釈迦様の誕生日をお祝いし、各地で花まつり行事が開催されました。



4月7日 栃木県総合文化センターにて
写真は子ども達による灌仏の様子。当日はブラスバンドや演劇、子ども達による歌や遊戯が行われ、多くの方が訪れた。
(主催：宇都宮仏教会)



4月8日 三瀧寺道場にて
写真は花まつり法要の様子。当日は参詣者が見守る中、灌仏が行われた。法要後、参加者に甘茶が振る舞われた。
(主催：広島市仏教会)



5月22日 岐阜市高島屋百貨店東広場にて
写真は式典広場に集まる園児の様子。当日は1800人の園児が集まり、園児代表が灌仏を行った。式典終了後、誕生仏を乗せた白象を引き、柳ヶ瀬商店街へパレードを行った。
(主催：岐阜県仏教会)



4月10日 尾道市しまなみ交流館にて
写真は園児が合掌している様子。当日は園児の演技発表、僧侶・坊守合唱団・園児による合唱が行われ400人を超す参加者が訪れた。
(主催：尾道仏教会)